図書館だより



ブックステーションはびきのコロセアム 2072-937-7210 開館(火休)は) 13:30~16:30

				шиск	F 22200 2	7 1 7 100 C 07 1 L	10/2 30/ /2 TO IMILIDOVO (VI) 10:30 TO:30
		市内図書館			おはなし会		特集テーマ
ф	央	☎ 072-950-5501	(月)休館	4 日(生)	18日生	11:00 ~ 14:00 ~	一般・アニメの本
				12 🖯 🖰	26 🗏 🖽	14:00 ~	旧帝・これも芸術
				18日生		15:00 ~	児童・これも芸術
				5 🗎 (8)	12 8 25 8 4) 11:00~	
陵南の森		☎ 072-952-2750	金休館	18日生		15:00 ~	一般・秋だ!出かけよう
				19 田	・小さい子向け	11:00 ~	児童・10/15 はきのこの日にちなんできのこの本
				・少し長いむ	話を聞ける子向け	11:30~	
東	部	2 072-950-2002	金休館	8 日(水)		10:30~	たのしいあき
古	市	2 072-958-0050	(月)(火)休館			15:00 ~	一般・てくてく散歩♪
-	١١٦	4 072-956-0050	MWW MEE	_		15.00~	児童・★まじょ★の本
丹	比	2 072-937-2355	金休館	25 日(土)		10:30~	気になる 手にとる 本のPOP
羽曳が丘		2 072-958-8653	072-958-8653	11日生 25生	2F (+)	11.00	おいしい!を読書で味わおう
		072-957-5553	金休館		Z) (I)	11.00~	のいしい! で就肯 (MM)の)

~図書館で映画を楽しもう~

『わくわくドキドキ★ムービーシアター』

『モンスター・ハウス』(吹替版 91 分)

とき 10月 26日田 開場 13:30、上映 14:00

場所 LIC はびきの映像セミナー室

対象 図書館利用カードをお持ちの方 定員 先着 45 人

申込 中央図書館窓口・電話・ウェブサイトから 10月1日似~25日仏に申込

秋のシニアのおはなし会

「弘法と嫁と水~古市町の古井の話~」ほか

出演:おはなしの森の皆さん

とき 10月9日(水) 15:10頃 (ラジオ体操終了後)

場所 陵南の森 歴史資料室 ※申込不要



正置友子さん講演会

【第2回】生きるための絵本

- 未来に生きる子どもたちと絵本を読むということ-

とき 11月 26日外 13:30~ 16:30 (開場 13:00~)

場所 羽曳野市役所 別館3階 会議室

定員 先着 60 人 ¥ 無料 ※一時預かり保育なし

申込 10月8日例 10:00より中央図書館窓口か電話で申込

秋の読書月間イベント

詳細は 10ページ、またはウェブサイトを参照

<臨時休館のお知らせ>

古市図書館 10月 11日出~12日日(古市だんじり祭りのため) 10月 10日蛍 17:30~15日秋 10:00 ブックポスト使用不可

<館内整理日>

10月29日(水) (図書の返却はブックポストへ)



設施のニュースで、江戸時代に 起源のある市場が閉鎖されるという記事を首にした。

建物の老柄化もさることながら、仕入れたの地場産業の衰退や 販売先の個人商店や店舗等の減少 などが背景にあるという。

もう予製学前から大型店舗の出席により地元の商店街なども衰退の一途を辿り、駅前の商店街等は見る影もないところが増え、シャッター街になってしまっている所も多くみられる。

それは大型店舗の出店だけでは なく、単社会の発展により駅前な どは以前のような活気も少なくなり、一箇店主は高齢となるが跡を継ぐ人がいないなど様々な問題が原因となっていると思われる。

話は変わるが、近所に苦ながらのおじいさんがやっている首転車屋があった。 職人気質の店室は、 う繁ではあったが首転車屋があった場所は小学校の近くであったため朝な岁なと子どもたちを見等ってくれていた。

その首転車をもあるときからシャッターがずっと閉まったままになってしまっていた。風の噂では、活業が亡くなったとのことであった。 置からその地域に住んでいたわけではないので、活業の人となりは着じ上げないが、首転車を修

理してもらったことはあったので 少し寂しい感じがした。結局、その自転車屋があった場所は、今は 駐車場になっている。

一普前は、客で賑わっていたであろう店も時代とともに一つまた一つと消えて行ってしまうと、若いとは思っていても首分も齢を重ねたのだとしみじみ感じる今首この頃である。

ネット社会、電社会となり人との繋がりが希薄になりつつある酢 今だが、身近な場所での人との触れ合いを大事にする、こういったことも人権意識の高揚につながるのではないだろうか。

羽曳野市人権啓発推進協議会